

令和元年度小松市立符津学校 学校評価（計画）

めざす児童生徒像

進んで自分の考えを表現し、振り返りや交流で深めることができる子。

※児童生徒達成結果－教員結果・保護者結果

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策	
				教員	児童生徒	保護者				
（学校重点項目）	表現する力の向上	①の4段階評価のA+Bの割合が80%以上にする。	① 算数科の授業の中で事象・考え方を言葉・式・図・表などを使って表現している。							
			② 手本となるノートの掲示・交流を行っている。							
			③ 授業のノートを自学や算数新聞で振り返っている。							
			④ 符津っ子テスト（説明する問題を含む）で平均点70点以上となっている。							
			集計							
重点項目	働き方や業務の改善	①②③の4段階評価のA+Bの割合が90%以上にする。	① 校務分掌や業務の整理・統合が図られており、業務の平準化がなされている。							
			② 自分の校務分掌を自覚して行い、組織的な学校運営がされている。							
			③ 電子会議室を活用し、印刷・配布時間や連絡時間の短縮を行っている。							
			集計							
小松市共通重点項目	学校研究	②③の4段階評価のA+Bの割合が95%以上にする。	① 学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っている。							
			② 研究主題に迫る目指す授業像（児童生徒像）を共有し、研究の視点に沿った授業研究会を計画的に行っている。							
			③ 教職員一人一人が授業研究に主体的に取り組み、自校の授業改善に向けた取組を共有・実践している。							
			集計							
	指導力の向上	授業	①の4段階評価のA+Bの割合が80%以上にする。	① 児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。						
				② 児童生徒は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。						
				③ (発表力) 児童生徒は、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。						
				④ (記述力) 児童生徒は、自分の考えを書く機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して書いている。						
				⑤ 児童生徒は、授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っている。						
				⑥ 児童生徒は、授業の目標に沿って自分の学びの変容を実感したり、学びに対する達成感を得られたりしている。						
	集計									
	学力の定着	学力調査	がんばりテスト（漢字・計算）で両方80点以上取っている児童の割合を75%以上にする。	① 学力の重点目標や具体的な取り組みは全教職員で共通理解し、目標を達成できるよう取り組みは徹底して行っている。						
				② 学力向上ロードマップにおける各自の役割を教職員が理解し、定期的な検証がなされている。						
				③ 近隣等の小中学校と学力調査の結果や分析、成果や課題を共有している。（小中連携）						
				④ がんばりテスト（漢字・計算）で両方80点以上取っている。						
⑤ 目標を達成できなかった児童に個別支援を行っている。										
集計										
家庭学習	家庭学習強化週間中の宿題提出率を95%以上		① 自分で計画を立てて勉強している（3年以上）							
			② 児童生徒の家庭学習の評価・指導を行っている							
			③ 宿題を家で言い、提出している。							
集計										